
キミニツキ

織田一菜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キミニツキ

【Nコード】

N9443N

【作者名】

織田一菜

【あらすじ】

悲恋系の切ない感じの詩です

携帯にたまった未送信メール
宛先はまだ分からない
教えたきり返事のない
君へのメールが日記みたいに
バカみたい？分かってるよ
でもやめられない本気の日記
私かなり短気だから
いつまでも待ってらんないよ

私の中のキミニツキ
もうメモリーがいっぱい
なのに「いつかのために」って今日も
また一つ増える

希望がつまった未送信メール
行き先は全部同じ
いつまでたっても帰ってこない宛先不明
君中毒になってるから
やめられない私の日記
活気にあふれた文面が
ひたすらにせつなくて

私の中のキミニツキ
もう限界を超えそう
なのに「明日こそは」って
今日もまた一つ増えた

見せるあてのないキミニツキ
いつになったら見てくれる？

私発君行きの想い

とつくにメーターふりきってる

見せるあてのないキミニツキ

いつになったらこの日記

見せてあげられるだろう

もうこの体果ててしまいそう

また誰かが喧嘩したね

私すぐに気づいたよ

髪の色変えたんだね

私すぐに分かったよ

君のこと誰よりも思ってるよ

だから早く私の想いに

気づいてよ

答えてよ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9443n/>

キミニッキ

2010年10月9日17時28分発行